

# セキュリティ・キャンプフォーラム 2013 報告書

2013年2月15日  
セキュリティ・キャンプ実施協議会  
情報処理推進機構 産学連携推進センター

「セキュリティ・キャンプフォーラム 2013」の実施結果について以下のとおり報告する。

## 1. 開催目的

2004年度より開催している「セキュリティ・キャンプ」は、若年層の情報セキュリティ分野に高い興味と技術ポテンシャルを有する全国の精鋭が、情報セキュリティに関する高度な技術を合宿形式で第一線の経験豊かな講師から学ぶことができる有益なイベントとして認知されつつある。

2013年2月9日、セキュリティ・キャンプ卒業生、キャンプ講師、協議会会員、学校の教員、一般の情報セキュリティに興味ある方などが一同に会した「セキュリティ・キャンプフォーラム 2013」を、出席者の相互交流や「セキュリティ・キャンプ」の魅力の醸成と知名度の向上、最新のセキュリティ動向の把握を目的として、セキュリティ・キャンプ実施協議会と独立行政法人情報処理推進機構の共催により開催した。

## 2. 開催概要

- (1) 開催期間：2013年2月9日（土）13：00～18：00  
開催場所：フクラシア東京ステーション（東京都千代田区）
- (2) 参加費用：無料
- (3) 参加人数：122名
- (4) 主催：セキュリティ・キャンプ実施協議会／独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
- (5) 後援：経済産業省  
政府の「情報セキュリティ月間プログラム」として開催

### (6) アジェンダ

NO	時間帯	内容／講演者
1	13:00-13:10	開会挨拶 セキュリティ・キャンプ実施協議会 会長 三輪 信雄 独立行政法人情報処理推進機構 理事長 藤江 一正
2	13:10-14:00	ゲスト講演 「セキュリティ業界においてイノベーションを起こす人材を目指して」 株式会社フォティーンフォティ技術研究所 代表取締役社長 鶴飼 裕司
3	14:00-14:45	卒業生プレゼンテーション 「Camp Effects (仮題)」 福森 匠大(2011年卒業生) 「無効化されないことを目指すセキュリティ機構の開発」 怒田 晟也(2011年卒業生) 「Web Application Firewall」 米内 貴志(2012年卒業生)
	14:45-15:00	休憩&交流タイム
4	15:00-16:00	卒業生パネルディスカッション ◆パネリスト 宮本 久仁男(2012年セキュリティ・キャンプ講師主査 /株式会社エヌ・ティ・ティ・データ) 周 礼贇(2007年卒業生)、中谷 翔(2010年卒業生)、堀本 貴幸(2008年卒業生) ◆インタビュー(ビデオ) 山口 直也(2006年卒業生)、武田 慎之介(2008年卒業生)、菅 祐貴(2007年卒業生) ◆モデレーター 上野 宣(独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター)
5	16:00-16:45	セキュリティ・キャンプ実施協議会会員企業からのメッセージ「キャンプの今後に期待すること」 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 基盤システム事業本部 セキュリティビジネス推進室 室長 山岡 正輝 株式会社ラック 専務理事 西本 逸郎
6	16:45-16:50	開会挨拶 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 小林 信彦
	16:50-17:00	休憩
7	17:00-18:00	卒業生発表を中心とした交流タイム

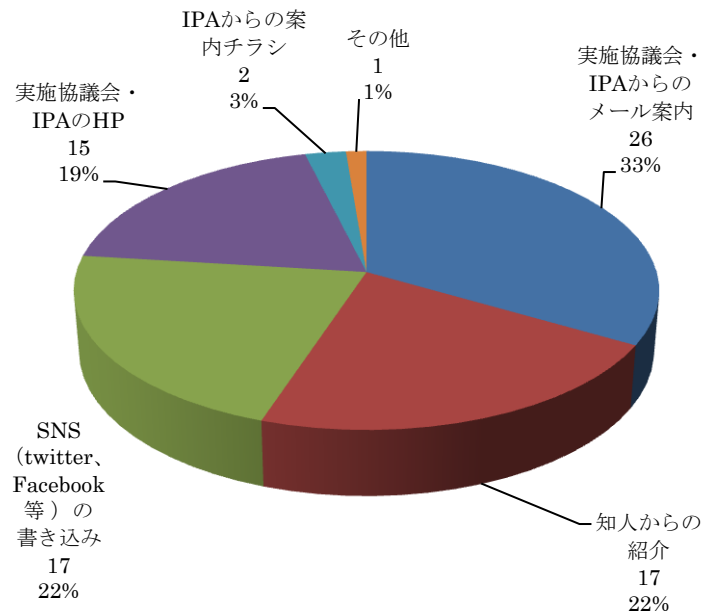
### 3. アンケート結果

アンケートは、67件回収した。

フォーラム開催関係者を除いた参加者102人に占める回収率は、65.7%だった。

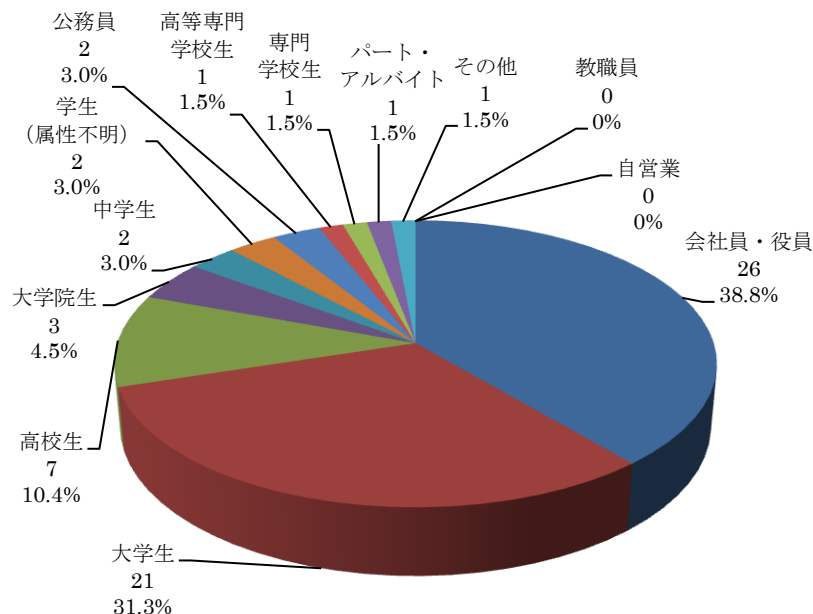
#### A. 本フォーラムをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

実施協議会・IPAからのメール案内によってフォーラムを知ったとの回答が三分の一を占める。また、知人からの紹介、SNSの書き込みもそれぞれ2割程度ある。関東圏の学校に対して約650件のDMを送ったがその効果は、薄かったように見える。



#### B. あなたのプロフィールをお聞かせください。

会社員・役員が4割を占める。大学生も3割を占める。今回は、卒業生が50人参加、また、一般の会社員・役員や学生も36人参加した（「来場者の属性の表を参照」。これにより、卒業生同士の交流とセキュリティ・キャンプの知名度向上が実現できたと思われる。関東圏の学校にDMを送ったにもかかわらず教職員の来場者がなかったことより、学校関係者へのアプローチ方法は再考の必要性がある。学校はこの時期、受験にぶつかるという要因もあるかもしれない。

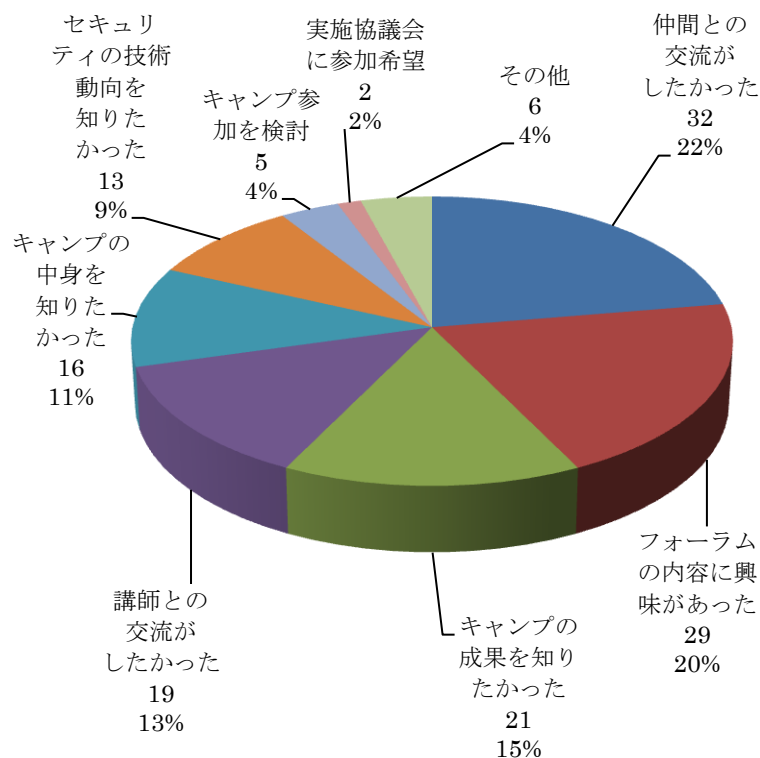


来場者の属性

No.	属性	人数（人）
1	卒業生	50
2	一般	36
3	実施協議会会員企業	7
4	講師	9
5	フォーラム運営（IPA、協議会事務局など）	20
	合計	122

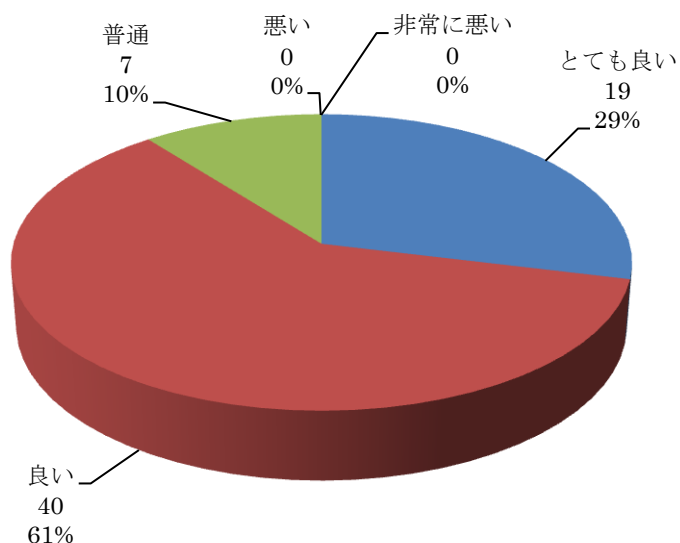
C. 本フォーラムに参加された理由は何でしょうか？（複数回答可）

仲間との交流がしたかった、フォーラムの内容に興味があったが、それぞれ2割を占める。卒業生の交流、セキュリティ・キャンプの周知という当初の目的は来場者に伝わっていたことが確認できる。また、今回の案内に入れたセキュリティ技術の動向というキーワードで来場された方も1割程度であるが見られた。



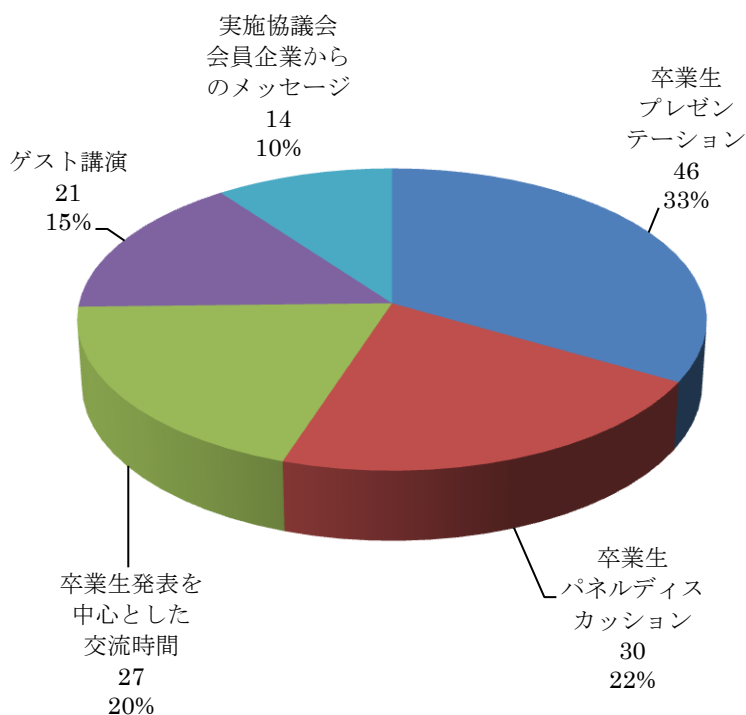
**D. プログラムの構成についてはどうでしたか？**

実に9割もの参加者がとても良いまたは良いと評価している。Gのフォーラムに対する具体的なコメントとともに考えると、セキュリティ技術の動向に関心をもって来場した方への情報提供の仕方は今後の課題となるだろう。



**E. 興味をお持ちになったプログラムを教えてください。(複数回答可)**

卒業生プレゼンテーションに関心が最も高く、次にほぼ同じ程度の関心度で、卒業生パネルディスカッション、卒業生発表を中心とした交流時間が続く。準備段階で最も時間をかけた卒業生パネルディスカッションよりも卒業生プレゼンテーションの方がポイントが高かったことは今後の運営の参考となる。



F. キャンプについてどう思われましたか？ご感想・ご意見をお書きください。

セキュリティ・キャンプの取組みは良いので続けて欲しいとの意見が多く見られた。フォーラムに参加した学生の中には、セキュリティ・キャンプに参加したいとの意見も散見された。また、プログラミングコースの復活を望む声もあった。

(具体的なコメント)

- ・ キャンプは、セキュリティに強く関心があったり、できる人が参加可能なイメージがあります。最初の一步を踏み出し、セキュリティに関心を持たせるようなキャンプもあればいいのではと少し思いました。
- ・ もっと期間を長くしてはどうか
- ・ 合宿形式で密度が濃い時間で強いつながりがあることを感じた
- ・ サーバ構築→運用・監視→セキュリティに対して、ネットワーク関連のカリキュラムに最低限の構築・運用（OSPF、BGP などプロトコルレベル）が含まれていないことに疑問を感じた。
- ・ 参加したいという気持ちを再確認できた
- ・ 大変良い取り組みだと思います
- ・ 中長期的な視点で今後も続けていってほしい。
- ・ クローズドなコミュニティを、オープンにしていけたら良いかなと思いました。
- ・ 自分を磨いてもらえる場所な気がする。行きたい。
- ・ 楽しそうだと思います。可能であれば参加したいです。
- ・ 言語組の復活を望みます。
- ・ 2012 では寄せ書きしなかったそうなので、したらいいと思います。
- ・ 今後も各地で色々開いていただけると嬉しいです。プログラミングが戻ってきてほしいです！！
- ・ 山岡さんも言っていたが後押しができると思うし人生が変わると思う。
- ・ 自分は一回もキャンプに参加してないので参加したいと思いました。また、このレベルの高い人達の中で自分を高めたいと思いました。
- ・ 若い人たちがITに真剣に向き合う姿を見て、いい刺激になりました。
- ・ 是非、参加したいです！
- ・ レベルの高さに驚きました。ぜひ参加したいです。
- ・ 人材育成という枠にとらわれず、ネットワーキングとしても機能するように変化をしている姿は見習うべきだと思う。
- ・ 今後も続けてほしいと思う。
- ・ これからもつづけてほしいです。プログラミングもほしいです。
- ・ このような卒業生と企業の交流の場所をぜひ継続的に設けていただきたいです。
- ・ 若年層の底上げでいいなあ、と思う。ただ情報が昔は地方に無かったとくやまれる（昔から知っていれば）
- ・ 若い方が多く私の様なものがついていけるかどうかわかりませんが、参加したいと思う内容でした。
- ・ 若い人がうらやましいですね。いわばTOPGUNのようなものですかね。
- ・ 若い大切な芽をしっかり育てる思いを持った取り組みだと感じました。

G. 全体として何かお気づきの点などございましたらお書きください。

卒業生にとっては、懐かしい仲間と交流できてとても満足度が高かったと思われる。しかしながら、これからセキュリティ・キャンプに参加しようと考えている学生にとっては、卒業生との間に壁を感じたようであり、今後の課題と思われる。

(具体的なコメント)

- ・ 交流時間で久しぶりに卒業生と会えてよかった。
- ・ 毎年報告会があると、将来の参加者や認知者を増やせると思うので続けてほしい。
- ・ 次回も開催してください。
- ・ LT大会のAGENDAがあれば良かったと思います。
- ・ 卒業生との交流に壁を感じた。
- ・ 続けて実施して下さい！よろしくお願いします。
- ・ 未踏のコミュニティは、質問が次々と出てくるのに対して、キャンプは友達同士という感覚が強いと感じました。
- ・ プログラミングは来年やりますか？
- ・ キャンプに参加したことない自分にとっては、身が少しせまかったです。
- ・ 引き続き宜しくお願い致します。
- ・ 公的、私的を問わず、定期的なこういう場があるといいと思う。
- ・ セキュリティに関わる者として意識があがったと思います。
- ・ 鶴飼さんのお話から技術と哲学は不可分なもの（倫理を含む）だなと感じました。生み出された技術自体は赤子のようなもので、白にも黒にもなる（例えば原子力の利活用技術等）と思うので技術だけでなく、そういったことも、若い人には身に付けていって欲しいなと思いました。

以上

セキュリティ・キャンプフォーラム 2013 ゲスト講演

